

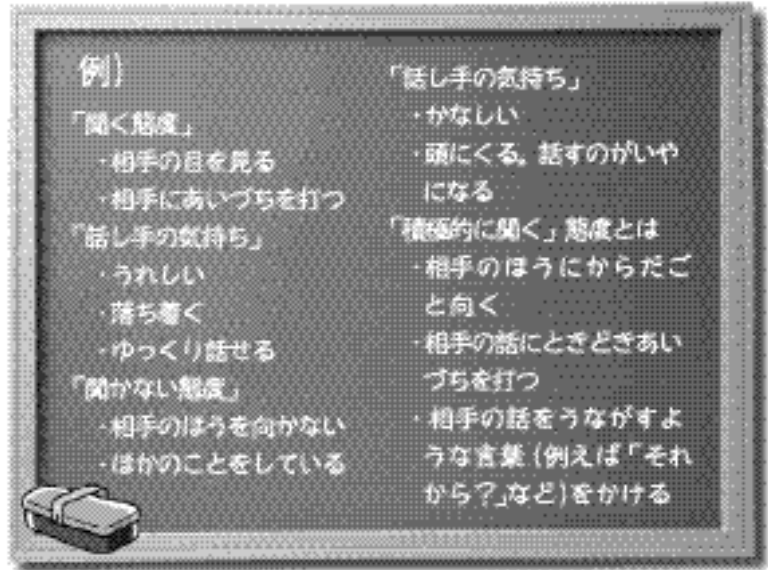
# あなたのクラスでやってみませんか！ ユニセフの「開発のための教育」

## 積極的に聞くこと

### 目的

対立の解決や相互理解のために、相手の話を「聞く」ことの役割を認識し、「聞く」力と「相手の意見や話を理解する」力を育てる。

**所要時間** 40分  
**人数** 2人以上  
**対象年齢** 小学校低学年から



### ● すすめかた

#### 2人1組になる。

参加者は2人1組になり「話し手」と「聞き手」を決める。

#### 「聞く」「聞かない」の練習1

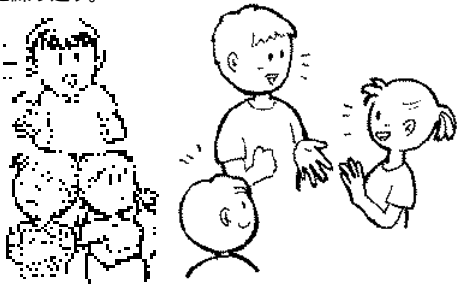
指導者は「話し手」にテーマ(例:『自分が将来なりたいもの』など)を提案し、3分間話をするように指示する。また、「聞き手」には熱心に聞く態度をとるように指示する。3分間たったら「聞き手」は「話し手」の話を1分程度にまとめて話し、話の内容を確認する。

#### 「聞く」「聞かない」の練習2

指導者は「話し手」にもう一度同じテーマについて3分間話をするように指示する。「聞き手」にはできるだけ工夫して話を聞かない態度をとるように指示する。

#### 役割の交代

「話し手」と「聞き手」の役割を交代し、とを繰り返す。



#### 話し合い：どのような態度をとっただろう

「話し手」の話を「聞く」とき、「聞かない」とき、それぞれどのような態度をとったかを全体で話し合う。指導者は出た意見を板書する。

#### 話し合い：どんな気持ちになっただろう

話を聞いてもらったとき、聞いてもらえなかったとき、それぞれどんな気持ちになったかを全体で話し合う。指導者は出てきた意見を板書する。

#### 「積極的に聞く」態度とは?

相手の話を積極的に「聞く」とはどのようなことなのかを、もう一度全体で考えてみる。

指導者は板書しておく。

#### 「積極的に聞く」練習

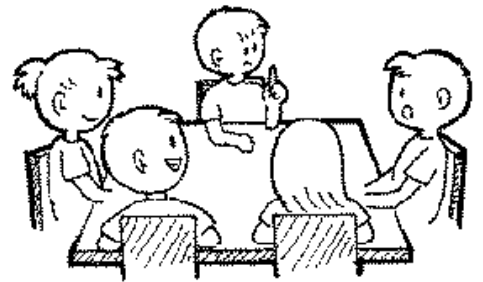
再び、2人1組になり「話し手」と「聞き手」を決める。指導者は新しいテーマ(例『自分が楽しいと思っていること』など)を提案し、「話し手」に3分間話をするように指示をする。このとき「聞き手」は で考えられた『積極的に聞く』

態度で相手の話を聞く。指導者は3分間たったら「話し手」と「聞き手」の役割を交代するように指示し、同じことを行う。

#### どんな気持ちになったか

『積極的な態度』で話を聞いてもらったとき、どんな気持ちになったかを全体でふりかえり、以下の点について話し合ってみる。

- ・コミュニケーションの中で、「聞く」ことはどのような役割をもっているだろうか。
- ・対立やもめごとが起こったとき、「聞く」ことはどのように役に立つだろうか。



### こんなときに

実際にアクティビティを体験された方からは、

意識していなかったけれど、相手の話を聞くことがいかに難しいことかを実感しました

自分は意外と相手の話をしっかりと聞いていないことがわかりました

などの声が寄せられています。

相手の話をよく聞くことの大切さを知るこのアクティビティは、話し合い型のアクティビティを行う前や、アイスブレーキングとして行うと効果が期待できます。